

木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業 概要説明（長崎県対馬市）

1. 事業概要

事業名	対馬市木質バイオマスエネルギー導入計画策定事業
検討対象設備等	対馬市内におけるガス化発電設備、チップボイラの導入
平成30年度 補助金交付予定額	14,547,000円
事業内容	対馬島内には低質材のまとまった受け皿がなく、以前木質バイオマス発電の事業化プランも浮上したが規模が大きく燃料の量的確保、機器の技術面、採算面から事業化に至らなかったが、本事業ではこれまでの検討の反省を踏まえ、資源供給、技術性、経済性の面から検証を行い、対馬市で持続可能な木質バイオマス発電、或いは熱利用ボイラの導入計画を策定する為、以下事業を行う。 1. 森林等木質バイオマス資源の賦存量調査 森林資源量の統計情報の整理・分析、地域材の流通動向調査、林地残材の発生量の実態把握・推計調査、材の広域連携調達の可能性調査、木質バイオマス資源の利用可能量の推計等を調査する。 2. 再生可能エネルギー設備導入に向けた実現可能性の調査 導入候補地の調査、木質バイオマスエネルギー利用設備の導入可能性の検討、導入シナリオの構築、事業計画の策定、事業による効果検証、森林の保全管理方法の検討等を行う。

2. 設備導入予定等

設備導入時期	平成31年度：FIT申請（売電の場合）、施設の設計、設備補助の申請、設備発注、施設の建設着工 平成32年度：施設の稼働開始
CO2削減効果	ガス化発電設備（発電出力計：1,815kw）の設備導入を行った場合、9,873t-CO2/年のCO2排出削減効果が期待される。
生物多様性保全効果	適正な森林整備による生態系保全、健全な森林を育成することによる自然（人間とツシマヤマネコ等の野生動物）との共生、バイオマス資源の利用による生物多様性にとって最大のリスクである気候変動・地球温暖化の抑制に寄与する。